**令和５年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針**

資料４－２

施施設名：大阪府立女性自立支援センター

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | 評価基準 | 評価委員の指摘・提言等 | 改善のための対応方針 | 次年度以降の事業計画等への反映内容 |
| Ⅰ　平等利用が確保されるよう適切な管理を行うための方策  （１）  施設の設置目的及び具体的な管理運営方針  （２）  平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果  Ⅱ　施設の効用を最大限発揮するための方策  （１）  サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果  （２）利用者の自立支援を図るための具体的手法及び期待される効果 | ○提案のあった基本方針に沿った管理運営  ○提案のあったサービス向上を図るための取組み  ○提案のあった自立支援を図るための取組み | ○指定管理者の実施状況欄中、研修や会議等の具体的な参加実績を記載することを検討されたい。  ○指定管理者の実施状況欄中、自立支援計画を作成するにあたって意識している点を記載することを検討されたい。  ○指定管理者の実施状況欄中、苦情担当職員への申立てについて、苦情の内容や対処の経過等を記載し、苦情解決の仕組みが機能していることが分かるように記載することを検討されたい。  ○指定管理者の実施状況欄中、事故報告、ヒヤリハットの件数が非常に多いが、実際に件数が多いのか、または事故・ヒヤリハットの定義が広すぎるのか、重大な事故やヒヤリハットが埋もれている可能性があるので、内容を精査されたい。  ○評価要素欄中、「①利用者の衣食住や情報に関する生活スキル向上のための支援」について、「衣食住や情報」の観点に加えて新たに「金銭管理」を支援の要素に加えられたい。 | ○ご指摘の内容を踏まえ、各種研修、啓発活動・会議等の欄に参加実績を記載した。  ○計画作成時に意識している点を施設に確認し、確認内容を追記した。  ○苦情解決の内容や解決に至る経緯等について、施設に確認を行い、確認内容を追記した。  ○施設に事故およびヒヤリハット一覧の提出指示を行った。提出内容を踏まえ、所管課で事故、ヒヤリハット、その他（いずれにも該当しないもの）に分類し、件数を修正した。また、施設に対し定義に従って明確に分類するよう指示を行った。  ○評価要素欄中、「①利用者の衣食住や情報に関する生活スキル向上のための支援」について、次年度以降 従来の「衣食住や情報」の観点に加えて新たに「金銭管理」を支援の要素とすることとし、自立支援の観点から、利用者の収支管理スキルの向上を図るとともに、金銭トラブルから身を守ることができるよう、金銭管理について学べる機会を設けるための方法や手段を検討するように指示を行った。 | ○指定管理者の実施状況の記載内容に反映する。  ○指定管理者の実施状況の記載内容に反映する。  ○苦情（要望）の内容を施設に確認し、指定管理者の実施状況の記載内容に反映する。  ○指定管理者の実施状況の記載内容に反映する。また、提出された一覧の内容について、必要に応じてヒアリングや指導を実施する。  ○評価要素欄中、「①利用者の衣食住や情報に関する生活スキル向上のための支援」について、従来の「衣食住や情報」の観点に加えて新たに「金銭管理」を支援の要素とすることとし、自立支援の観点から、利用者の収支管理スキルの向上を図るとともに、金銭トラブルから身を守ることができるよう、金銭管理について学べる機会を設ける方法や手段を検討する。 |